

## 会社概要

社名	スター電機株式会社
所在地	愛知県安城市箕輪町唐生211番地1 TEL 0566-77-9111/FAX 0566-77-9112
資本金	1000万円
事業内容	電気制御盤装置の設計製作 ソフトウェア開発
代表者	代表取締役 加藤利宜
従業員	16名
設備概要	敷地1419㎡ 建物(延)1061㎡
取引銀行	三菱東京UFJ 安城支店 大垣共立銀行 安城支店
納入先	株式会社トーア 株式会社AiHO 株式会社エデックリンセイシステム 楠精工株式会社

## 沿革

1970年02月 (昭和45年)	森永登が個人営業にてスター電機商会として発足
1973年11月 (昭和48年)	有限会社に組織変更
1976年06月 (昭和51年)	株式会社に組織変更(6月16日)
1991年01月 (平成03年)	森永智が社長に就任
1993年02月 (平成05年)	安城市箕輪町に工場を新設し全面移転
2005年04月 (平成17年)	市川廣一が社長に就任
2024年12月 (令和6年)	加藤利宜が社長に就任



## Company Profile



## Access

- 高速道路  
【伊勢湾岸自動車道】豊田南インター(名古屋方面より)
- 新幹線  
【こだま】三河安城駅下車  
【ひかり】名古屋又は豊橋でこだまに乗り換え
- 東海道本線  
【普通】三河安城駅下車  
【快速】刈谷で乗り換え(名古屋方面から)  
安城で乗り換え(豊橋方面から)  
※三河安城駅から徒歩15分



〒446-0051  
愛知県安城市箕輪町唐生211番地1  
TEL 0566-77-9111 / FAX 0566-77-9112  
<https://www.stardk.co.jp/>

# 機能設計から生産設計、製造、検査、調整まで、一貫した生産システムで皆様のニーズにお応えします。

自動制御盤専門メーカーとして、新しい時代のモノづくりを支援します。

エレクトロニクスの発展にともない、制御盤装置も年々、大規模化、複雑化し、その要求は高まるいっぽうです。いまやFA・OAをはじめとする自動化技術は、単なる効率アップの手段から、重要なインフラの一環へと進化。天然資源に恵まれない日本では、自動化技術こそが最大の資源といえるでしょう。私たちスター電機は、自動制御装置の設計・製造をおこなう専門メーカーとして、つねに生産技術の強化・蓄積に力を注いできました。私たちはこれからも、独自技術のさらなる向上をめざしながら、市場のニーズにマッチした制御装置を創造。新しい時代のモノづくりを支援していきたいと、考えています。



代表取締役 加藤利宜

## 加速するエレクトロニクスの進化を味方に。

エレクトロニクスの進化とともに発達してきたメカトロニクスの世界。今後のさらなる進化に追従すべく、スター電機では、設計・制作・検査の各工程にコンピュータを活用した、独自の生産・検査システムを構築。エレクトロニクスの進化をそのまま品質管理や製品づくりにも反映し、より良い製品づくりをめざしています。

## もっと誰かのお役に立ちたい、スター電機の制御盤です。

### ① 機能設計



マシンに応じて、オーダーメイドでつくられるのが制御盤。お客様のニーズに充分耳を傾けながら最適な仕様を検討、部品選定をはじめとする具体的な提案や仕様に応じた機能設計及び生産設計をおこないます。

### ② 生産設計

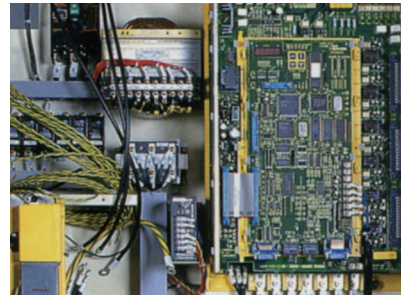


AutoCADをカスタマイズした独自の設計支援システムをフルに活用。より正確でスピーディな設計でお客様の声をカタチにします。部品選定等も、過去に使用した数千点の部品がデータベース化されていますので、もっとも効率よく盤設計できるような工夫がなされています。もちろん変更時にもきわめて機敏に対応することが可能です。

## 情報を結ぶ、積み上げる、活用する。

これからのモノづくりには欠かせない条件だと思います。

スター電機では、全部門を結ぶコンピュータネットワークを構築。情報の一元化とすぐれた作業効率で、皆様のニーズに的確にお応えしています。OA化においても、全業務を一括管理する総合システムを完成し、業務の円滑な推進と、顧客へのスピーディな対応を実現しています。また現社屋では、設計段階からインテリジェント工場をめざし、LANを敷設、全部署のネットワーク化を完了しました。プリンター等の周辺機器も共用化を図り、低コストでしかも高レベルの制作環境を全社平等に実現しています。



主な制作制御盤  
NC工作機  
各種設備機器

### ③ 製造工程



製造部品に必要なデータもネットワークを通じて設計部門から引き出し、有効活用がなされています。各種省力化機械等により、生産量の増加にも負担がかからないような工夫をしています。

### ④ 検査システム



自社開発の配線検査機により、制御パネルの全点チェックはもちろんの事、操作パネルにおいても、全操作項目を半自動でおこない、完全な製品を次工程に送ります。当社では検査を機械化することで製品すべてに対して同レベルの検査が可能となり、人為的な検査もれやミスを防いでいます。

### ⑤ 営業部門



受発注をはじめとする、すべての業務をコンピュータ化。効率的な運用が図られています。